

依頼者	国風第一幼稚園
タイトル	ゾウさんとお友達になろう♪ (動物園の遠足の前に動物について、子どもが楽しく学べる事前学習)
<p>コーディネーターへの相談内容</p> <p>○依頼者の要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東山動物園への親子遠足で、従来の遠足ではなく、動物に対して興味を持って遠足に参加できるように、楽しく動物について教えることができる講師を紹介してほしい。 	
<p>コーディネーターの対応</p> <p>○外部講師の紹介</p> <p>【選定講師】名古屋コミュニケーションアート専門学校 長谷川明子氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生時代に上野動物園のゾウの飼育を体験しており、大学卒業後は(一財)自然環境研究センター動物調査員として勤務し、現在は名古屋コミュニケーションアート専門学校で動物・植物・自然について教えている長谷川明子氏に依頼した。 ・専門学校生の研修の場としても活用。 <p>○学習内容の提案</p> <p><講師に対して></p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児の考える時間をとること ・体験型のプログラムにすること ・自分で興味を持って動物を見ようとする意識づけをすること ・学生は明るく、はきはきと話すこと(丁寧に、楽しそうに) <p><依頼者に対して></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に動物園や動物について絵本、図鑑などを見て興味を持てるようにすること ・遠足の前に描いたイラストを使って再度、振り返ること ・学んだこと(違い)を家族にも教えてあげるよう話すこと ・遠足の後に再度、振り返ること ※実際はどうだったか、感想を聞く等 ・ゾウの違いを知ること、遠足時の観察の仕方(注目する箇所)が変わることが想像される。遠足から戻ってきたら遠足の絵を書き、実際はどうだったか、どんな動物がいたか等、子どもの感想・想いを聞くこと等 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門学校生は全員が男性なので、幼児に対して威圧感をあたえないように、外見(服装)や話し方に気をつけること 	
<p>学習内容と当日の様子</p> <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アフリカゾウ」「アジアゾウ」の違いを体験的に学ぶ(模型、パズル、クイズ等) ・ゾウさんのお絵かき ・合唱「ゾウさんの歌」 ・ゾウのうんちでできているハートの紙をプレゼント 	

<参加者数>

児童：93名（年長3クラス）【グループ分け】6グループ

教員：7名

授業リーダー：5名（名古屋コミュニケーションアート専門学校生）

<講座の結果>

- ・アフリカゾウとアジアゾウについて、生息地や、耳の大きさ、鼻の形、足の爪などの違いを写真や模型で体感させることにより、児童に興味関心を持たせることができた。
- ・描いたゾウの絵について発表することにより、理解したことを全体で共有することができ、さらに学びが深まった。
- ・最後に、学んだことを親や兄弟姉妹、友達に話すきっかけになるように、ゾウのうんちで作られたハートの紙をプレゼントし、「子ども達だけでなく、保育者も知らないことを学ぶことができとても楽しかった」という依頼者のコメントから、今回の講座の目的である「楽しく動物に関心を持つこと」を達成できた。



(講座の様子)

コーディネーターに対する感想

○依頼者

- ・長谷川明子先生は、とても明るく素敵な先生でした。お話しを伺っていてきっと楽しくなるだろうと期待が持てました。
- ・園側がどんなことを教えていただきたいかをもう少しよく考えてから打合せをすべきだと反省しています。
- ・すべて準備していただきありがとうございました。
- ・子どもも保育者も楽しく学びました。
- ・教える方法も新鮮で、とても勉強になりました。外部講師の方に来て頂くことで気づいたり、新しい考え、方法を知ることができるという大きなメリットを感じました。

○外部講師

- ・動物園に行く前の環境学習で効果が高いと感じた。
- ・事前の打合せで会場の大きさや備品などが理解できてよかった。
- ・材料費を出していただけるように、交渉していただけた。
- ・90人以上の園児への配慮をしていただき、感謝しています。
- ・単に話すだけ見ているだけの講座にせず、体験的なプログラム作りが大切だと実感している。
- ・体験的なプログラムづくりができる体制が出来ると良い。

その他

なし